

避難所について

避難所の開設について

市内15カ所の指定避難所は、市域に震度5強以上の地震が発生した場合は即座に開設されます。それ以外の場合は、市域の状況により必要に応じて部分的又は全部の指定避難所が開設されます。(風水害時は、基本的に避難情報が発令された段階において、対象の指定避難所を指定緊急避難場所と同様に開設することとしています。)※避難所が開設される前に自主的に避難所への避難を希望の際は、亀山市役所代表(82-11111)までご相談ください。



避難所の運営について

指定避難所では、避難所運営組織を立ち上げ、「避難者の管理」「物資の供給」「衛生管理」「生活ルールづくり」などの運営・管理を行います。

基本的には、地域の方が主体となり運営組織を作ることが重要になります。各指定避難所には指定避難所代表者という地域の代表者がいますので、この方を中心に運営を行うこととなります。ただし、避難所運営は避難された方みんなの力で成り立つものであり、代表者や役員だけでとても避難所を運営できるものではありません。役員も被災者のひとりの可能性があります。人任せにせず、一人ひとりが出来ることを自らが行い、避難者全員が協力して運営しましょう。



避難生活について

避難所では、避難してきている人たちみんなが災害に遭い、みんながつらい思いをしています。こんなときだからこそ、一人ひとりが思いやりを持ち、協力し合いましょう。

- 周りの方への心配りをしましょう。
- 困っている人は積極的に助けましょう。
- 決められたルールや役割を守りましょう。
- 日常生活に復帰できるように考えましょう。



こんなことに注意

感染症や食中毒

手洗い、うがいを十分に行い、できる限りマスクを着用してウィルスや雑菌からの感染症を防ぎましょう。避難所では食中毒や感染症が発生しやすい状況になります。これらを予防のためにも避難所等で配られた食べ物はすみやかに食べましょう。

エコノミークラス症候群

テントや車の中など狭い場所で避難生活を送る際に起こりやすいのが「エコノミー症候群」です。狭い空間で同じ姿勢のままでいると血流が悪くなり、足などにできた血栓が肺や脳などの細かい血管を詰まらせることで起きる病気です。避難所では適度に身体を動かして対策しましょう。

悪質犯罪から身を守ろう

過去の災害では避難所に避難している人々の家が荒らされるという被害事例や混乱時に大切なものを預かるふりをして金品を奪うなどの悪質な犯罪が数多く報告されています。貴重品は避難時に持ち出せるようにし、被害に遭わないよう十分注意してください。

わたしの防災マップ STEP10



避難所では誰でも活躍できます！

指定避難所では、避難者全員の助け合いが何よりも大事です。個々に持っている特技や能力も非常に大きな力となります。例えば…



元自衛官



元警察官



医師・看護師



助産師



保育士



元消防士



調理師等



建築系職員

まとめ役、炊き出し

夜間等警備、防犯啓発

医療救護、往診

妊婦の対応、出産支援

幼児の保育

火災の予防指導、救急活動

炊き出し、調理

避難所施設の応急復旧



わたしの特技やできることを書いてみよう

しばらくの間の避難生活、できる限り快適な生活をしたい。みんなで工夫して考えて、自分にできることをしよう！

わたしのもっている免許・特技は何ですか？

わたしでも小さい子の面倒を見たり
避難所のゴミ出しや掃除はできるよ！

事務仕事をしているから
避難者名簿作成に協力しよう！

広告会社で働いているから
掲示板のお知らせを作ろう！



わたしの特技等を踏まえて避難所でどんなことができますか

特技を持っている場合でも何をすればいいかわからないという方もいると思います。
自分はこのような特技を持っているということを避難所運営組織へ報告しましょう。
あなたの特技が避難所の運営にきっと役立つと思います。